

## リファイン建築へ

青木茂建築工房 代表取締役 青木 茂  
建築学科 5, 6年対象 担当教員：石原修

### 実施概要

学生向け学科主催講演会として、青木茂建築工房代表取締役の青木茂氏に、「リファイン建築へ ～建たない時代の建築再利用技術～」と題して、講演を依頼した。5, 6年生を対象としたが、学部、院生合わせて約8名の出席状況であった。

講演内容は、青木氏が提唱する「リファイン建築」の概念をはじめ、リファイン建築の建築事例である、『大分県佐伯市立蒲江海の資料館』や『ISVH 都立大学』、『岐阜県岐阜市の神田町QIビル』などの紹介があった。リファイン建築では、人はもちろん建物や文化財にも配慮したデザインを目指しており、建物の用途変換を伴った建築再利用のための新しい技術を提案している。また、環境への配慮やユニバーサルデザインで、建物自体の価値を高めることを目的としている。

学生への講演開催の周知には、ポスター掲示によって行い、講演は「特別講義」とした。また、講演の最後には、質疑応答の時間を設け、学生からは、青木氏が提案するリファイン建築が、「リフォーム」や「リニューアル」、「コンバージョン」との違いに関する質問や、青木氏が提案するリファイン建築のポータルグリッド工法と呼ばれる耐震補強方法に関する質問があり、青木氏による詳細な説明により学生には有益な講演となった。

## 社会人として身につけること

平田機工株式会社 藤本一郎  
知能生産システム工学科 担当教員 森 和也

### 1. 緒言

平成17年11月18日に、インターンシップ総括として特別講演会を実施しました。講演は、本学科OBの平田機工株式会社藤本一郎様にお願いしました。藤本様は、卒業後まだ数年で、参加学生と年齢が近く、学生は先輩からのアドバイスとして、身近に感じられたようでした。

講演内容は、「社会人として身につけること」で、特に挨拶の重要性を説明されていました。

### 2. アンケート

講演の後、アンケート調査を行い、次のような意見を得ました。

- ・ 講演会を聞いて、社会人としてどのような事を身に付けておけばいいのかが分かって良かった。これからはその事を参考にしてがんばっていこうと思う。
- ・ インターンシップを受けたことは会社の雰囲気を感じることができとてもよい経験でした。そして、講習会では自分以外の人のインターンシップの内容が聞けてとても面白かったです。また、平田機工からいらした藤本さんの講演は自分が就職活動したときの話や平田機工という会社についての話などとても参考になったと思いました。
- ・ 私が講演の中で今でも印象に残っているのは「きちんと挨拶すること」です。考えてみると、幼い頃から「元気よく挨拶しなさい」「誰とでも仲良くしなさい」と親に言われていました。そんな基本的なことが、今現在もできていないと思う場面が多々あり、このままではいけないと考えさせられました。先輩の体験談として講演会で話を聞いたことは、社会人になるということをより身近に感じることができ、「挨拶ができないのは、まずいことだ」という危機感を感じることができたので、良かったと思います。

